

## 大会宣言

本日、私たちは、「子どもたちに平和な未来を手渡そう」と、野火止公民館で第45回新座母親大会を開催しました。「コロナ禍の影響で4年ぶりの開催となりました。福嶋尚子さんを講師に、「給食費無償の意義と希望」と題した記念講演を行い、今後の新座市での給食費無償化の運動の展望も見えてきました。」

母親大会の原点ともなった1954年ビキニ水爆実験で第五福竜丸をはじめ多くの漁船が被爆してから70年。世界の母親・女性たちが手をつなぎ、「核戦争から子どもを守りましょう」と始まった母親大会から69年。“生命（いのち）を生み出す母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます”のスローガンを、戦争放棄の平和憲法に重ね、私たちは、世界に類のない母親運動を歩み続けてきました。

岸田内閣に代わり石破内閣が誕生しました。しかしこの新内閣は裏金問題には一切触れようとせず、統一協会との癒着についても、一切明らかにしようとしません。それどころか5年間で43兆円以上ものお金を防衛費に使うとしています。平和憲法を投げ捨て、武器を輸出するなど、断じて許すわけにはいきません。

「能登半島地震から9か月がたち、地元では復興が進まない中、9月には集中豪雨に見舞われ、避難所が床上浸水するなど、大きな被害が出ました。」政府は今こそ能登の復興に力を注ぐべきです。物価高は収まらず、「実質賃金は下がり続け、私たちの生活は一層苦しさを増しています。ウクライナやガザでの悲惨な状況も終わりが見えません。」税金は、私たちの生活を守る為にこそ使うべきです。「能登の復興を一日も早く！コメ不足、コメの値上がり何事か、日本の農業を守れ！給食費・学費を無償に！生活できる年金に！医療・介護・福祉に予算を！私たちの税金を武器購入に使うな！と、政治を変えるために声をあげていきましょう。」

憲法9条を持ち唯一の戦争被爆国である日本が行うべきことは、対話と外交によって「戦争を避ける努力」をすることです。核兵器禁止条約を批准し「核兵器の使用は絶対に許さない」と世界に示すことです。

平和な未来を子どもたちに手渡すために、今日から未来へと歩み続けることを誓い、ここに宣言します。

2024年10月6日

第45回新座母親大会